

平成 29 年度 保健体育科

教科	保健体育	科目	保健	単位数	1 単位	年次	2 年次
使用教科書	現代高等保健体育（大修館）						
副教材等	現代高等保健体育ノート（大修館）						

1 担当者からのメッセージ（学習方法等）

教科書を中心に、基礎的事項を確認しながら学習する。
保健ノートを活用して、理解を深めさせる。
新聞記事やニュース等身近な問題を取り上げ、興味・関心を持つことができる授業を展開する。

2 学習の到達目標

生徒個人の健康・安全について理解を深めるようにし、生涯を通じて自らの健康を適切に管理し、改善してゆく資質や能力を育む。保健・医療機関を適切に活用することや、生活環境を守るための知識と実践力を高めたりすることにより、生涯を通じた健康作りの基礎を学習する。

3 学習評価（評価規準と評価方法）

観点	a: 関心・意欲・態度	b: 思考・判断		c: 知識・理解
観 点 の 趣 旨	生涯の各段階においての健康についての課題があることに 関心を持ち、意欲的に学 習に取り組もうとす る。	授業で身につけた知 識のみならず、時事問 題や身近に起こりう る健康課題について 知識・理解を深め、個 人や集団で問題解決 を図るなど、知識を活 用する力を養う。		健康的な生活・生命 の維持・思春期を取 り巻く健康リスクに ついての知識を深 め、健康に関する個 人の適切な意思決定 や行動選択及び健康 的な社会環境づくり を行うことが重要で あることを理解す る。
評 価 方 法	各学期末に考查 各担当者で提出物等 の点検 授業への取り組み状 況	各学期末に考查 各担当者で提出物等 の点検 授業への取り組み状 況		各学期末に考查 各担当者で提出物等 の点検 授業への取り組み状 況
上に示す観点に基づいて、学習のまとめりにごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。				

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b		c		
1	生涯を通じる健康	思春期と健康 性意識と性行動の選択 結婚生活と健康 妊娠・出産と健康 家族計画と人工妊娠中絶 加齢と健康 高齢者のための社会的取り組み	○	○		○	a: 自分の行動への責任感や異性を尊重する態度を養い、良好な人間関係を育む姿勢 b: 生涯の各段階に応じた健康についての課題を考え、自己の健康管理ができる c: 思春期における心身の発達 健康な結婚生活 加齢に伴う心身の変化について理解を深めている	提出物 授業態度 期末考査
2	生涯を通じる健康 社会生活と健康	保険制度とその活用 医療制度とその活用 医薬品と健康 さまざまな保健活動や対策 大気汚染と健康 水質汚濁・土壌汚濁と健康 健康被害の防止と環境対策 環境衛生活動のしくみと働き	○	○		○	a: 健康課題やさまざまな保健活動、対策について関心を持ち、生涯にわたっての健康の保持・増進について考えようとしている b: 自分自身と社会全体の心身の健康を考えて、適切な判断行動ができる c: わが国の保健・医療制度 医薬品 保健・医療サービスの適切な活用 自然環境を汚染と健康について理解できているか	提出物 授業態度 期末考査
3	社会生活と健康	食品衛生活動のしくみと働き 食品と環境の保健と私たち 働くことと健康 労働災害と健康 健康的な職業生活	○	○		○	a: 環境衛生活動や労働災害等について関心を持ち、生涯にわたっての健康の保持・増進について考えようとしている b: 職場がおこなう健康増進対策、余暇の意義と活用の仕方について総合的に考え、判断し、それらを表している。 c: 働くことの意義や健康のかかわり、働き方と健康問題の変化について、理解し、総合的に判断することができる。 d: 働くことの意義や健康のかかわり、働き方と健康問題の変化について、課題の解決に役立つ基礎的な事項を理解している。	提出物 授業態度 期末考査

※ 表中の観点について a: 関心・意欲・態度 b: 思考・判断
c: 知識・理解

※ 年間指導計画(例)作成上の留意点

- ・原則として一つの単元(題材)で全ての観点について評価することとなるが、学習内容(小単元)の各項目において特に重点的に評価を行う観点(もしくは重み付けを行う観点)について○を付けている。